



きこりん だより

令和4年
1月5日
No.66



新年あけましておめでとうございます
笑顔で過ごす明るい一年となりますように

2022年元旦 きこりん一同



いつでも今日が一番若い日。はじめるなら今。そう思うと元気が出ます。

書道家として活躍されている武田双雲さんの子育てが新聞に載っていました。家庭では高1、中1、小1の2男1女のお父さん。三人のお子さんがいて、さぞや大変だろうと思いきや、大変なことも「本当にむちゃくちゃだなあ」と笑いにしてしまい、子どもを怒ることはほとんどないそうです。子どもへの過度な心配や期待でイライラするのはもったいない。ご両親から肯定されて育った影響で、子どもはコントロールする対象ではなく、興味や関心の対象という考えで子育てをされてきて、笑いの絶えない家族の今があるようです。

今を楽しむ

子どもは親の時間を食べて育っていくといいます。子どもの心の栄養を十分に満たすための大切な時間です。一番の栄養は、親の愛情。子どもを包み込み受け入れる親の存在です。ずっと続くように感じる子どもとの時間も実は案外短いものです。そしてその時間は親の気持ちのもちようで、楽しくも辛くもできる時間なのかもしれません。

お母さん、お父さん、お疲れさまです。たまにはひと休み。休んだら我が子の良いところ探しをしてみませんか。見つけた良いところを、ぜひお子さんに伝えてください。はじめるなら今。どうぞ「今を楽しむ」一年に。



子どもの応急対応～こんなときはどうする？～

子ども家庭支援センター&母子保健共同企画

第3回ファミサポ・病後児会員研修



12月2日(木) 文化会館にて

毎年奥多摩消防署のご協力をいただき開催している事業です。

はじめに講師の救急救命士・齊藤和範さんから子どもの事故等に関する講義を受け、その後3箇所に分かれて、乳児及び児童の誤飲除去の方法や、AEDの使い方をおひとりずつ体験しました。事業の間には師岡町長も参加してくださいました。

質問も飛び交い皆さんの関心の高さがうかがわれ、もっと時間が欲しかったとの声もでるほど熱心に受講されていました。

救急救命士齊藤和範さんの講義



民生児童委員・子育て支援部のみなさんの託児協力



3箇所に分かれて、消防署の方の実演と指導のあと、各自が実際に人形を使ってAEDや誤飲除去を体験しました。



子どもの心肺蘇生の方法を、実践練習したのは初めてだったので、とても勉強になりました。

消防署の方の説明が分かりやすかった。実践が良かった。

乳児を子育て中で、今日の講習で不安が軽減されました。

日々子どもと接しているなか、危険なことも多く、改めて気を引き締めていかなければと思った。

救急車を間近に見られて大人でもちょっとうれしかった。

自分自身、子育て中なので家庭の中にも危険がたくさんあることに気づかされました。

娘が歯ブラシをしているときにうろついていることがあるので注意しようと思いました。

参加者の声から一部紹介します！



あまり学ぶ機会がないことなので、参加できてよかったです。AEDの使い方も初めて触れてこうなっているのかとビックリしました！何かあった時に対応できるように心がけたいと思いました。

今回、身近な危険や事故について知れて大変勉強になりました。昔と今でガラッと変わった応急対応などもっと知りたいと思いました。(鼻血は下を向くことを知りませんでした。上だと思っていました。)

発行：子ども家庭支援センター・きこりん

奥多摩町小丹波 108 番地

TEL：0428-85-2611

相談専用：0428-85-1788

相談専用メールアドレス kikorin@town.okutama.tokyo.jp

インターネット：「奥多摩町

きこりん」

または



で 🔍 検索

